

議 事 録

会 議 名	第 5 4 回 宇都宮市環境審議会 議事録
開催日時	令和 8 年 3 月 3 日 (火) ※書面開催
出席委員	大久保順也委員, 小倉久美委員, 岩井潤子委員, 森嶋佳織委員, 横尾昇剛委員 (会長), 北浦さおり委員, 佐野和美委員, 高梨弘幸委員, 田代昌継委員, 半田光隆委員, 福田治久委員, 町田全功委員, 増渕弘子委員 (副会長), 小金澤頼子委員, 稲垣広己委員, 齊藤好広委員, 中島光委員
公開・非公開	公開
会議概要	<p>1 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第 4 次宇都宮市環境基本計画」(素案)に関するパブリックコメントへの対応について ・「第 4 次宇都宮市環境基本計画」に対する答申(案)について ・「第 2 次うつのみや生きものつながりプラン」(素案)に関するパブリックコメントへの対応について <p>⇒ 議事について, 了承</p>

発言要旨 ※意見書にて頂いた御意見を掲載しております。

委員	<p>【「第 4 次宇都宮市環境基本計画」(素案)に関するパブリックコメントへの対応について】</p> <p>パブリックコメントの意見にある「安心安全なまちづくり」と「都市緑化」については, 多くの市民も同じように考えているものと思われるため, 計画の中でもピックアップできると良いと感じた。</p> <p>また, 多様性や環境に関する用語の変化など, 社会情勢の流れは速く, それに乗ることも重要だと思うが, 対応は多くの市民に受け入れられるものだと思う。</p>
事務局	<p>「安心安全なまちづくり」や「都市緑化」については, 市民の関心が高いテーマだと認識しており, 「意見に対する市の考え方」に記載した通り, 今後, 施策事業を推進していく上での参考とさせていただく。</p> <p>また, 用語や考え方について, 社会の変化が速いため, 今後の動向を踏まえつつ, 広く市民の理解が得られるよう意識しながら対応していく。</p>
委員	<p>イラストの人物が画一的(日本人, ジェンダーの捉え方など)という意見には賛同する。次回から, ジェンダーや人種の扱いなどに注意を払う必要があると感じた。</p> <p>「経済>環境」という意見があったが, 今や経済も環境問題を抜きにしては, 語れない時代になっていると思う。環境について審議することの大事さを, さらに市民にアピールしていく大切さを感じた。</p>

事務局	<p>イラスト表現について、今回作成時もジェンダー平等等に十分に考慮したところであるが、ご意見があったことを踏まえ、今後資料を作成する際に、より適切に対応していく。</p> <p>また、経済活動において環境への配慮は不可欠であり、環境分野の取り組みについて市民の理解が深まるよう、施策事業を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
委員	<p>市民に対して、今までにウェルビーイングの意味を説明してきたのか。自然環境・生活環境の保全が市民一人ひとりにとっての長期的な視点でのメリットになることは、なかなか理解されにくいですが、その意義についてもう少しわかりやすい補足が必要であると感じた。</p> <p>パブリックコメントの意見の中に、環境よりも経済活動を優先すべきとの意見があったと思うが、その回答が「ウェルビーイングが実感できる」だけでは伝わりにくいなと感じた。回答者は、経済活動を蔑ろにして我慢を強いるような環境優先を強制されるのではないかと懸念を抱いているように思われる。経済的な豊かさから生活の質の向上へのシフトが、宇都宮市だけでなく、国全体として掲げる施策の方向性だと思うので、その想いが伝わるような言葉の補足をすると良いと考える。</p>
事務局	<p>ウェルビーイングの考え方については、国の計画でも新たに掲げたところであり、市民にとって必ずしも分かりやすいとは言えないものと認識している。自然環境や生活環境の保全が長期的に市民生活にどのようなメリットをもたらすのかという点については、今後の施策事業を推進する中で、分かりやすく伝えていく。</p> <p>また、経済と環境の関係については、回答のとおり、環境への取組を新たな成長の機会として捉え、経済成長や市民の生活の質の向上が図られるよう組むこととしており、今後の施策事業を推進する中で、分かりやすく伝えていく。</p>
	<p>【「第2次うつのみや生きものつながりプラン」(素案)に関するパブリックコメントへの対応について】</p>
委員	<p>「生物多様性」について、一般の市民にとっては、自分たちが何をしたらよいか分からないというところだと思う。補足することで言葉は知らなくてもイメージしやすいと思う。</p>
事務局	<p>パブリックコメントとして寄せられたご意見については、まさに「生物多様性のわかりにくさ」によるものと受け止めている。</p> <p>今回策定する第2次プランには、「意見に対する市の考え方」に記載した「生物多様性がもたらす恩恵」や「私たち人間がそれらを享受して生活していること」、生物多様性を未来につないでいくための「30 by 30目標」のほか、「プランの目標(本市として2030年までに目指す状態)」に向けた各主体の取組を、具体例を交えて表現したイメージ図を掲載している。</p> <p>いただいたご意見については、今後、「生物多様性・ネイチャーポジティブに関する周知啓発」をはじめとした「生物多様性の大切さを知る」に係る施策事業を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>

委員

【その他・素案に対するご意見】

【緩和策と緑化の推進等について】

西口沿線計画のLRT 軌道敷地に芝生を植えこむことで、緑地の景観とヒートアイランド現象が抑える緩和策になると思う。雑草の管理に経費が掛かるが、軌道の保線管理と併用につなげる。(鹿児島市の市電事案から)

【運輸部門の排出削減に向けた公共交通の利用促進と多様なモビリティの脱炭素化とゼロカーボントランスポートについて】

路線バスや地域内交通のEV化は進んでいるが、コミュニティバスのEV化も検討が必要である。運転手の人手不足の課題もあるため、自動運転バスとの検討も視野にいれる必要がある。

【自立分散型再生可能エネルギーの最大限導入と地域新電力と連携した地産地消の推進について】

創エネと共に蓄熱場所設置を明記した方がよいと思う。今後増加する自然災害時によるブラックアウトのリスクを想定したモデル地域を考えた方がよいと思う。

【太陽光発電設備の最大限導入（重点）ペロブスカイト太陽電池の活用検討（新規）について】

東京都、さいたま市等において、企業と提携し、ペロブスカイト太陽電池に実証を実施しているのので、市役所や公共施設での試験実施の検討をした方がよい。

【新産業団地のデータセンターにおける進出企業の再生可能エネルギー活用促進（新規）について】

多量な電力使用量とCO2 排出が想定されるため、地域新電力の負担がないように、再エネの使用などの条件付けが必要と考える。

【生活排水対策の充実について】

未利用熱利用の充実を明記した方がよいと思う。下水温度は年間を通して安定しており、下水温度と大気温度との差を冷暖房や給湯等に利用する地域を検討してはどうか。

事務局

いただいたご意見は、緑化の推進、公共交通の脱炭素化、再生可能エネルギーの活用、未利用エネルギーの活用など、今後の施策事業を検討していく上で参考となる視点・手法であると認識しているので、今回の計画で反映することは難しいが、ご意見を活かしながら、調査・検討していく。